

未来授業計画2022

第1回未来授業研究会

東口匡樹 SSH推進課

スケジュール

45分授業 ※7限目と耕心カット

13:00～13:45 5限目

13:55～14:40 6限目

14:45～14:55 終礼

15:10～15:25 全体研修（視聴覚室）

15:25～15:30 移動

15:30～16:25 ワークショップ

1 各教科で模造紙に、をデザインする。グラフィックレコーディング（35分）

- ・ 資質能力、問いの焦点、ICT利活用、観点別評価を視覚化し共有できるようにする。

2

各自、他教科のポスターを見に行き、ポスターセッションを行う。（20分）

3 まとめ 16:25～ 閉会行事

未来授業研究会とは

2074年、宮崎西高100周年にノーベル賞受賞者を輩
出すべく、対話を基本に、生徒も教師も問いを立
て合う「問いを立てる授業」の構築を目指す会

去年の取り組み

第1回 問いとは何か、なぜ問うのか。

第2回 問いを立てる授業をやってみる。

第3回 入試における「問い」の研究とその「問い」に対するために必要な資質能力

今回の研修の内容

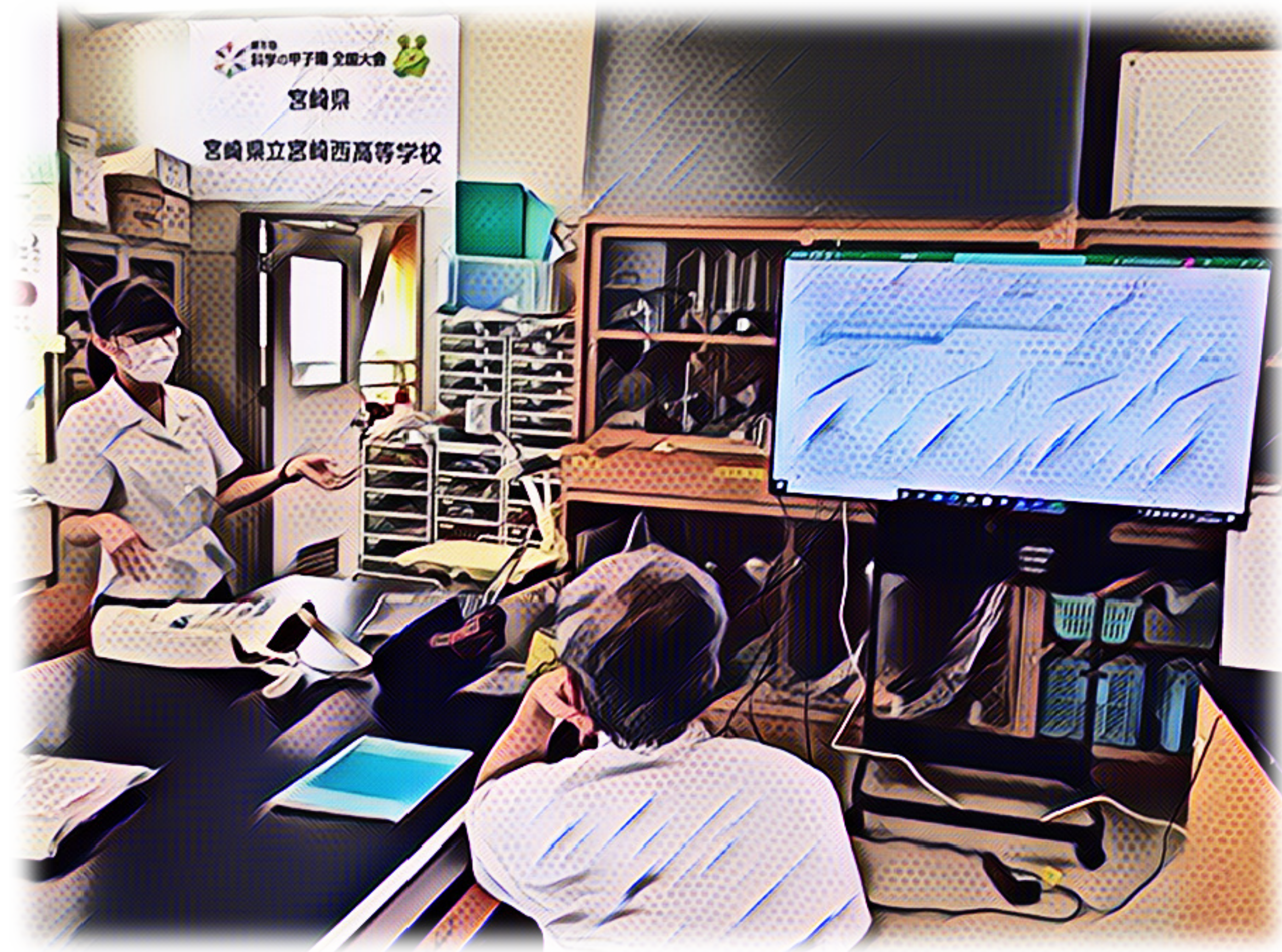
(1) 問いを立てる授業の共通言語化 (東口 10分)

(2) 観点別評価の実施 (山崎 5分)

(3) 学びのデザイングラフィックレコーディング (30分)

(4) 学びのデザイン ポスターセッション (20分)

問いを立てる
授業の
共通言語化



問いの焦点 =

問いを立てる授業の入り口

問いの焦点とは、生徒たちが質問をつくりだすための引き金。生徒たちがそれをきっかけに考えて質問を創り出せるものであれば、短い文章、あるいは写真や短い動画や表・図などの視聴覚教材でもかまわない。質問の焦点は、生徒たちの思考を喚起するために、従来使っていた教師からの質問の反対側に位置づけられるものである。

”たったひとつを変えるだけ クラスも教師も自立する「質問づくり」”ダン・ロススタイン、ルース・サンタナ 2015 新評論



Art +

この写真からどんな問いが立ちますか？



犬には感性はなくて、人間にのみ

あるのか？

感性とは何のためにあるのか？

これが本校の先生方では、具体的には次のようになります。

「正解」は本当に正解か？（正解
した問題をやり直し）

数学科

教科書の本文は真実である。

理科

感染症は完全に予防可能

保健体育科

この答えの質問は何か？

英語科

鎌倉幕府は元寇によって衰退した

日本史

王羲之の『蘭亭序』は草稿であるが最高傑作である

芸術科

$\triangle ABC$ において、 $a=2R\sin A$ が成り立つ。

どう思う？

数学科

正解は一つしかない。

鵜飼の鵜にならないために

数学科

本校の先生方の問いを立てる授業

未来授業研究会

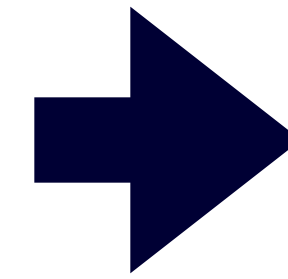
R2 指導教諭による研究公開授業

R2 公開授業者へのインタビュー

R3 各教科による研究公開授業
全体研修

R3 入試における「問い」の研究

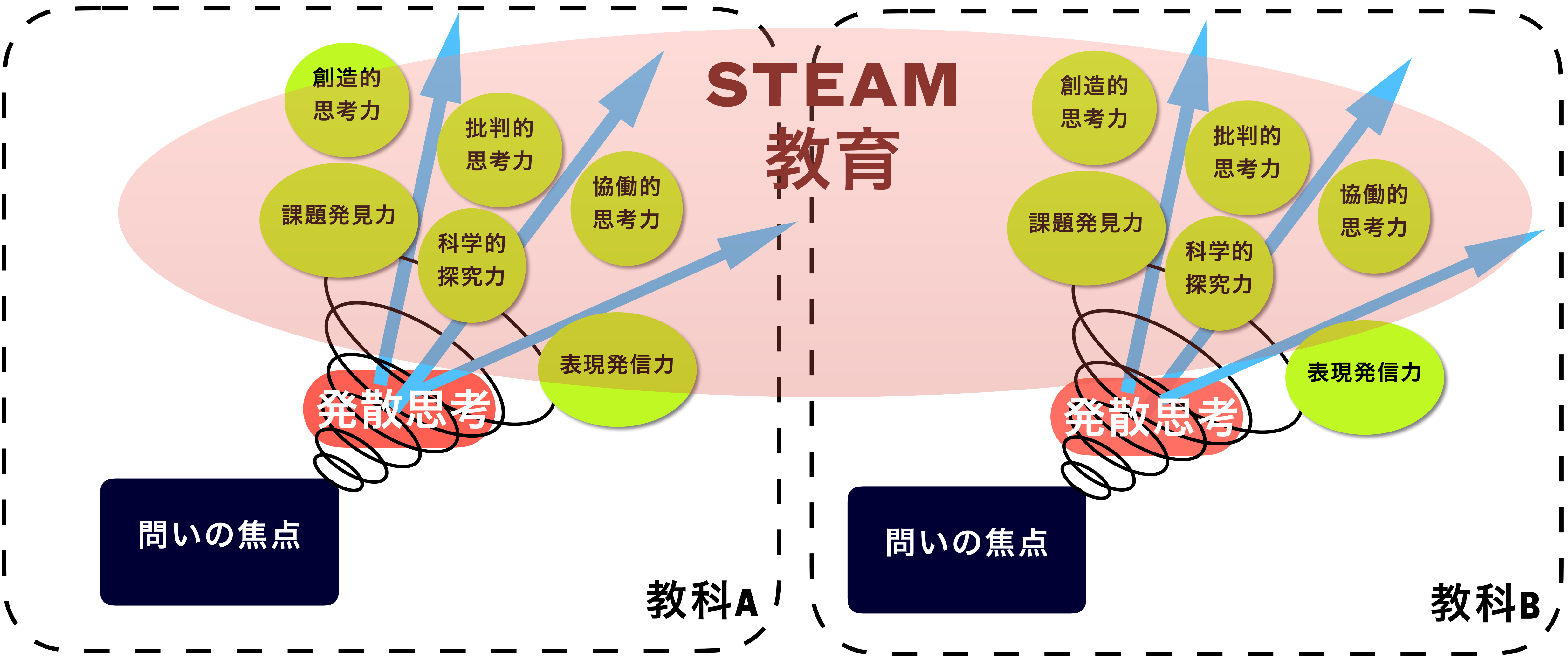
専門性の高い先生方
難関大指導の豊富な経験
高い進路実績



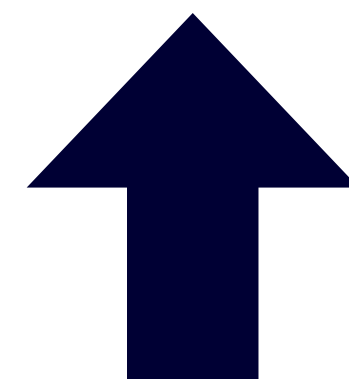
問いが焦点化されている

資質能力を身に付けさせて
いる

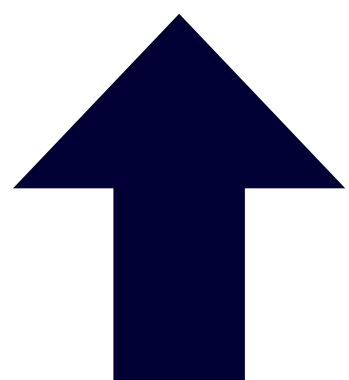
問いを立てる授業概念図



問いを立てる授業の共通言語化



普段の授業を「問いを立てる授業」として
意識化・言語化



西高が積み重ねてきた授業の継承と深化

観点別評価と 学習指導案





分科会の流れ

- 各分科会場に移動する。
15：25～15：30
- グラフィックレコーディングを行う。
15：30～16：05
- ポスターセッションをする。
16：05～16：25
- 各教科でフィードバックする。
16：25～16：30

分科会の場所

- 国語 図書室
- 数学 補習科教室
- 理科 補習科教室
- 地歴公民 被服室
- 英語 図書室
- 家庭・情報・芸術 被服室
- 保健体育 被服室



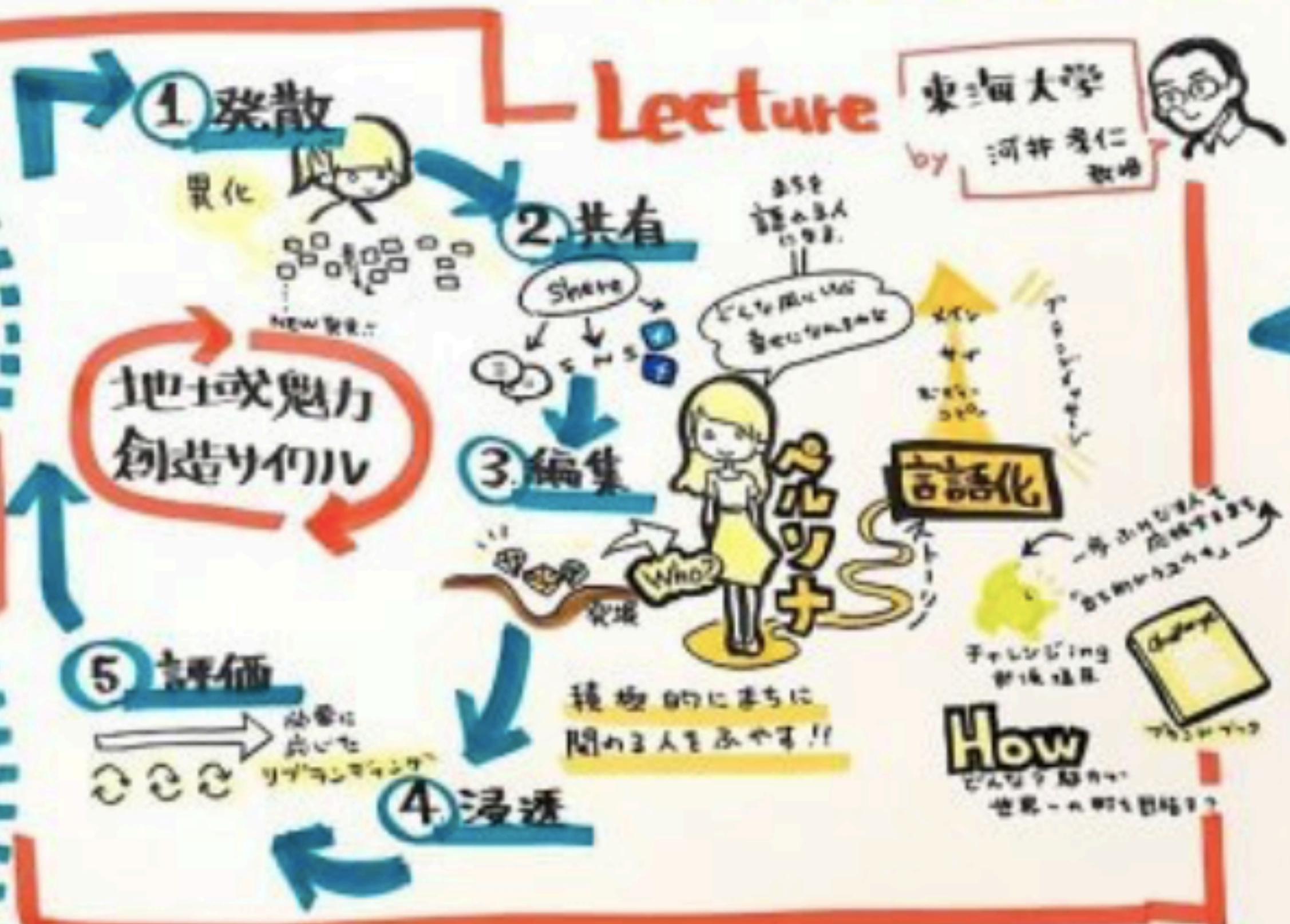
Graphic Recording



「さかえの魅力発見」ツアー「プランニング」!

WORKSHOP 1

2017. 12. 3



いつの学びをデザインするのか

- 7月22日 DX 研究公開授業
 - 10月21日 第2回未来授業研究会
 - その他任意の授業単元
-

学びのデザインで視覚化すること

授業の準備、教室の整備、わかりやすい教材・板書

問いの焦点

身に付けさせたい資質能力（批判的思考力、創造的思考力、科学的探究力、課題発見力、協働的思考力、表現発信力）

ICT利活用（個別最適化）

観点別評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学び合う力）

学びのデザインの時間

- 15 : 30 ~ 16 : 05



ポスター セッション



ポスターセッションの流れ

- 教科1人ずつ発表者を決める。
 - 残りの先生方は、好きな教科のポスターに移動する。
 - 5分（質疑応答含む） × 3回のポスターセッションを行う。
 - 時間は各会場のファシリテーターがお知らせします。
-



Feedback 各教科で共有

- ポスターセッションが終わりましたら、自分の教科に戻ってください。
- 自分が見てきた他教科のポスターの、印象に残ったところを教科内で共有してください。
- 16：25～16：30
- フィードバックが終わったら、各教科で終わってください。
- お疲れ様でした。